

令和6年度 事業報告書

1. 助成事業

令和6年度の助成事業は、研究活動費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額3,330万円を実施しました。令和6年度公募の概況は、以下の通りです。

(1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、2024年3月1日から4月15日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、106件の応募があり、選考委員会において、以下の69件の研究に対して助成を行うことを決定し、3,000万円の助成を実施しました。

1	走流性に基づく受精に至る生体内精子の運動メカニズム 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 助教 川合 智子	470 千円
2	肥満糖尿病における乳癌進展の新規機序とVaspinによる制御 岡山大学病院腎臓・糖尿病・内分泌内科 講師 中司 敦子	470 千円
3	AI カウンセラーを用いた小児・AYA世代がん患者のメンタルケア 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 准教授 長谷井 嬢	470 千円
4	Claudin-1 を標的とした糖尿病性腎症の新規治療法の開発 岡山大学 医学部 客員研究員 福島 和彦	470 千円
5	二酸化炭素を化学原料とする機能性ポリカーボネートの開発 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教 前田 千尋	500 千円
6	抗体産生を増強する因子探索によるワクチン強化技術への展開 岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 助教 曲 正樹	470 千円
7	第一、第二近赤外光を用いた高効率アポトーシス誘導法の開発 岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 准教授 渡邊 和則	500 千円
8	リハビリテーションに向けた高い柔軟性と支援力を有するソフトロボットの開発 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教 下岡 綜	500 千円
9	蒸発液滴表面への分子吸着が堆積物形成に与える影響の解明 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 講師 山田 寛	500 千円
10	洋上風力発電出力の季節変化予測：高度数理モデルと次世代流体解析による革新 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 鈴木 博貴	500 千円
11	CLT 材壁を用いた鉄筋コンクリート造建築物に対する持続可能な耐震補強工法に関する研究 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 Alwashali Hamood	500 千円
12	海外諸都市における BID 活動の評価に関する研究 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 堀 裕典	500 千円
13	河川での水中カメラ画像の深層学習による魚類の同定手法の開発 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 吉田 圭介	500 千円
14	食品成分の有効性に寄与する生体脂質の同定 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 中村 俊之	500 千円
15	ウシ子宮腺が精子を誘引するメカニズムの解明 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教 河野 光平	500 千円
16	5-アミノレブリン酸を給与した寄生虫感染ニワトリ盲腸内で増加する乳酸菌種の同定 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 畑生 俊光	400 千円

- 17 植物の他感作用による自家中毒とその緩和機構
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 三村 真紀子 500 千円
- 18 基盤的な左右相称動物、無腸類の胚発生解析/原始脳の分子基盤解明に向けて
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 研究助教(特任) 中村 遼 500 千円
- 19 可視光を光エネルギー源とするアルデヒドを基質としたエステルおよびラクトン化反応の開発
岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教 田中 健太 500 千円
- 20 実際の現象を確率的に考える能力の育成を目指した学校数学の確率の授業デザイン [※その他分野]
岡山大学学術研究院 教育学域 講師 石橋 一昂 200 千円
- 21 学生が自らの造形行為の省察を通して保育者としての資質能力を形成するオートエスノグラフィ研究 [※その他分野]
岡山大学学術研究院 教育学域 講師 大平 修也 200 千円
- 22 看護学生の主体的学習を支援する教材システム構築のための基礎的研究 [※その他分野]
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 佐藤 美恵 300 千円
- 23 設計における因果推論に関する不確実性およびその要因の解明
岡山県立大学 情報工学部 助教 筒井 優介 570 千円
- 24 人とロボットの瞬時接触動作のためのハイタッチロボットの開発
岡山県立大学 情報工学部 助教 太田 俊介 400 千円
- 25 無機繊維に金属を半含浸させた MMC による金属-FRP 異種材料接合部材の作製と力学的評価
岡山県立大学 情報工学部 助教 金崎 真人 400 千円
- 26 クロノタイプを考慮した若年女性の生活習慣と骨格筋指数との関係
岡山県立大学 情報工学部 准教授 大下 和茂 400 千円
- 27 共在の場の実現プロセスからみた「まちのガス屋さん」が参画する空き家再生拠点の役割と可能性に関する研究
岡山県立大学 デザイン学部 准教授 穂苅 耕介 400 千円
- 28 1900 年初頭より稼働する製糖工場が地域の都市構造に与える影響—沖縄・大東島と台湾南部を比較して
岡山県立大学 デザイン学部 教授 西川 博美 150 千円
- 29 パーキンソン病様マウス脳における新規 CircRNA の探索
岡山理科大学 理学部 准教授 橋川 成美 500 千円
- 30 病原細菌の glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase 菌体表出のメカニズムの解明とその意義
岡山理科大学 理学部 講師 松永 望 500 千円
- 31 間期細胞核における DNA トポイソメラーゼ II α と β の核小体-核質間シャトルリングの分子メカニズムの解析
岡山理科大学 生命科学部 講師 河野 真二 490 千円
- 32 植物の光受容体フィトクロムが持つ N 末端天然変性領域に関する研究
岡山理科大学 生命科学部 准教授 濱田 隆宏 500 千円
- 33 人への利用を事前検証できる中小型動物用褥瘡防止体位変換マットの開発
岡山理科大学 情報理工学部 准教授 趙 菲菲 500 千円
- 34 オオバウマノスズクサ群の種子のスズメバチ類散布の実態とアリ散布の可能性
岡山理科大学 自然フィールドワークセンター 准教授 東馬 哲雄 500 千円
- 35 四肢骨の栄養孔面積に基づく代謝率推定手法の確立と古生物学的応用
岡山理科大学 生物地球学部 講師 千葉 謙太郎 500 千円
- 36 気候条件の異なる移入先におけるメジロの繁殖生理学的応答の解明
岡山理科大学 生物地球学部 准教授 武山 智博 500 千円
- 37 検索拡張生成を用いた砂防防災業務の効率化に関する研究【特定研究分野 A】
岡山理科大学 生物地球学部 教授 佐藤 丈晴 500 千円
- 38 土器・焼土中に含まれる鉄鉱物の動態に関する基礎的研究
岡山理科大学 フロンティア理工学研究所 教授 畠山 唯達 500 千円

39	チオフェンが縮環したシロール誘導体の新規合成法の開発 倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 仲 章伸	400 千円
40	免疫チェックポイント阻害薬の治療効果と有害事象の相関を司る代謝変容の解明 倉敷芸術科学大学 生命科学部 講師 三重 慧一郎	200 千円
41	避難行動促進を阻害する認知バイアスは模擬避難所訓練で修正されるのか？-模擬避難所訓練モデルを用いた生理心理学的検討-【特定研究分野 A】 吉備国際大学 心理学部 教授 橋本 翠	500 千円
42	成体で全能性幹細胞を健全に維持する機構の解明 津山工業高等専門学校 総合理工学科 教授 柴田 典人	450 千円
43	植物プロテアソームシャペロン PBAC5 の構造と機能の解析 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 高木 賢治	550 千円
44	合金組成の最適化による濃度勾配を利用した結晶成長方位の制御と機械的性質への影響 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 関 一郎	550 千円
45	モモせん孔細菌病抵抗性に関与する遺伝子マーカー探索 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 嘉美 千歳	540 千円
46	モモにおけるゲノム編集技術の開発 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 田村 勝徳	300 千円
47	野菜の在来品種における色と味の特徴と抗酸化の優位性について 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 楊 霊麗	300 千円
48	肺炎症モデルマウスを用いた不安/うつ様症状に対する可溶性 RAGE の有効性 就実大学 薬学部 講師 出石 恭久	425 千円
49	環状分子におけるキラル内孔空間構築に基づく機能開拓 就実大学 薬学部 講師 山本 浩司	425 千円
50	「災害避難マニュアルの再確認」ガイドラインの提案 - 避難行動における『認知的ズレ』に着目して-【特定研究分野 A】 就実大学 教育学部 准教授 飯田 智行	400 千円
51	情動粒度の測定方法の開発:未分化状態の情動へのアプローチ [※その他分野] 就実大学 教育学部 教授 鈴木 国威	500 千円
52	心理実習体験を用いた学生の認知的柔軟性と精神的回復力を育むプログラムの開発と効果検証 [※その他分野] 就実大学 教育学部 准教授 永田 忍	200 千円
53	前立腺がんにおける小胞体ストレス応答を介した脂質メディエーター産生制御機構の解明 川崎医科大学 薬理学教室 助教 北風 圭介	425 千円
54	がん細胞由来の乳酸が T 細胞の PD-1 発現調節機構に及ぼす影響の検討 川崎医科大学 消化器内科学 講師 佐々木 恭	425 千円
55	長寿蛋白質から筋ジストロフィーの治療法を開発する 川崎医科大学 神経内科学 特任准教授 大澤 裕	425 千円
56	マウスモデルを用いたムコ多糖症プラス症候群の病態解明 川崎医科大学 分子遺伝医学 特任講師 寺脇 正剛	425 千円
57	急性白血病の進行・悪化を阻止する新規治療法の開発 川崎医療福祉大学 医療技術学部 講師 黒住 菜美	700 千円
58	AI を活用した看護師の復職支援:ダイバーシティ・マネジメントの視点からのアプローチ [※その他分野] 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 講師 虫明 昌一	400 千円
59	QGIS を用いた小田川上流地域の空間データ分析【特定研究分野 A】 岡山商科大学 経営学部 講師 藤本 宏美	200 千円
60	新規ビタミン D 欠乏マウスモデル作成の試みと、それを用いたビタミン D 欠乏と健康の関連解析 岡山学院大学 人間生活学部 講師 岡田 只士	250 千円

61	島嶼部における介護予防プログラムの開発 岡山学院大学 人間生活学部 講師 平野 聡	250 千円
62	低分子抗酸化物含有野菜による血糖コントロール組織制御機構の解明 美作大学 生活科学部 教授 渡邊 理江	550 千円
63	岡山県産黄ニラより単離した新規抗酸化物質 (Z-10-Devynylajoene) による快眠誘導作用機序の解明 中国学園大学 代生活学部 教授 坪井 誠二	200 千円
64	VR/AR を用いた災害の疑似体験と非常食の調理・試食の活動から成る小学校防災教育プログラムの開発と評価【特定研究分野 A】 中国学園大学大学院 子ども学研究科 研究科長・教授 佐々木 弘記	400 千円
65	アフターコロナにおけるフィットネス事業者のニューノーマル（新たな常態）な事業戦略に関する研究【※その他分野】 中国学園大学 国際教養学部 教授 佐々木 公之	200 千円
66	地域の親集団が生み出す「ケアの本質」に関する研究【※その他分野】 中国短期大学 保育学科 講師 清水 憲志	200 千円
67	運動によるメカニカルストレスが骨代謝関連因子に及ぼす影響 環太平洋大学 体育学部 准教授 十河 直太	350 千円
68	AI 動作解析アプリによる競泳スタート局面分析の精度検証 環太平洋大学 体育学部 講師 明石 啓太	300 千円
69	公益財団法人大原芸術財団所蔵の考古学分野コレクションの整理と研究【特定研究分野 B】 公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所 学芸員 伴 祐子	1,000 千円

(2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、2024 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、14 名の応募があり、以下の 8 名の研究者に対して 150 万円の助成を実施しました。

1	ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) に対する国際ガイドラインに向けた国際研究体制の構築 岡山大学 中性子医療研究センター 准教授 井川 和代	150 千円
2	国際会議発表 (IWA World Water Congress & Exhibition) 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 永禮 英明	200 千円
3	2024 ASA, CSSA, SSSA INTERNATIONAL ANNUAL MEETING での研究発表および打合せ 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教 富田 朝美	200 千円
4	国際会議 (57th SSR Annual Meeting) で発表 岡山大学 生殖補助医療技術教育研究センター 助教 田崎 秀尚	200 千円
5	The World Congress on Neurohypophysial Hormones (WCNH) 2024 で発表 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 越智 拓海	200 千円
6	国際会議 第 26 回 Planck2024 に参加・研究講演 岡山理科大学 理学部 講師 長尾 桂子	150 千円
7	XX International Botanical Congress (第 20 回国際植物科学会議) へ参加・発表 岡山理科大学 生物地球学部 講師 矢野 興人	200 千円
8	アメリカ微生物学会の総会「ASM microbe2024」で発表 就実大学 薬学部 准教授 山田 陽一	200 千円

(3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、2023 年 9 月 15 日から 10 月 31 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、4 名の応募があり、以下の 2 名の研究者に対して 180 万円の助成を実施しました。

- 1 口腔癌における Neurokinin B と Neurokinin 3 receptor のメカニズム解析：新たな治療アプローチの探求《インディアナ大学》
岡山大学病院 口腔外科・口腔顎顔面外科学部門 助教 小畑 協一 900 千円
- 2 ドイツにおける治水対策や数値解析を用いた洪水リスク評価、近年のドイツにおける水災害に関する最新の研究に関する情報収集とともに、日本とドイツの地理的・社会的条件を踏まえた治水対策の比較検討をテーマに研究を行う《ドレスデン工科大学》
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 赤穂 良輔 900 千円

2. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

令和 6 年度は、7 件の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の 2 名に決定しました。

光藤 耕一（岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授）

【研究題目】「電気化学的手法による有機半導体分子の効率合成と活性評価」

：令和 2 年度研究活動費助成事業

【審査評価】研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

川島 将人（川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教）

【研究題目】「免疫系を駆使した損傷骨格筋への新たなアイシング戦略の開発」

：令和 4 年度研究活動費助成事業

【審査評価】研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

令和 6 年度優秀研究者賞受賞者の表彰式は、2025 年 6 月 3 日に開催され、表彰状と副賞（研究奨励金 30 万円）が贈呈されます。

また、令和 6 年度の事業費として実施された「令和 5 年度優秀研究者表彰事業」は、2 名の受賞者に対して表彰状と副賞を贈呈し、664 千円を支出しました。

3. 研究者交流事業

定款第 4 条第 1 項第 6 号に掲げる事業は、次のとおり総額 2,359 千円を実施しました。

(1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、優秀研究者表彰式（2024 年 6 月 6 日）と研究発表会（2025 年 1 月 30 日）開催後に、ANA クラウンプラザホテル岡山にて立食パーティー形式の交流会を開催しました。終始なごやかな雰囲気
で交流がなされ、事業費としては、1,468 千円を支出しました。

(2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。令和6年度は、2025年1月30日にANAクラウンプラザホテル岡山で開催しました。当日は約90名が受講し、研究内容について様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の5名で、事業費としては、153千円を支出しました。

- 1 (令和5年度学術研究費助成)
「円偏光発光材料を志向した高次アザヘリセンの開発」
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教 前田 千尋
- 2 (令和5年度学術研究費助成)
「2人対戦AIの深層強化学習の研究」
岡山県立大学 情報工学部 助教 芝 世式
- 3 (令和5年度学術研究費助成)
「権利関係を重要視した建築都市空間計画の将来性に関する研究」
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 堀 裕典
- 4 (令和5年度学術研究費助成)
「アフターコロナにおけるフィットネス事業者のニューノーマル（新たな常態）な事業戦略に関する研究」
中国学園大学 国際教養学部 教授 佐々木 公之（同学部 講師 梶西 将司）
- 5 (令和元年度長期間海外派遣滞在費助成)
「海外派遣滞在研究者の報告」
岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 研究准教授 三瀬 広記

(3) 事業報告書の作成

令和6年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書120部を作成しました。尚、この事業報告書の作成費は令和7年度予算により実施されます。

また、令和6年度の事業費として実施された「令和5年度事業報告書」作成費は、738千円となります。

4. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

理 事

(2025年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 会長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	岡山大学 名誉教授	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 名誉教授	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
理 事	那須 保友	非常勤	無	岡山大学 学長	
常務理事	山室 正人	非常勤	無	株式会社ウエスコ 取締役管理本部長	

監 事

(2025年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士事務所	
監 事	中村 洋文	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部 経理部長	

評 議 員

(2025年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	中国職業能力開発大学校 校長	
評議員	高橋 吉孝	非常勤	無	岡山県立大学 保健福祉学部 教授	
評議員	山本 総一	非常勤	無	株式会社中国銀行 取締役常務執行役員	
評議員	北村 彰秀	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	

(2) 職員に関する事項

(2025年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	島田 泰宏	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	

(3) 役員会等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	2024 年 5 月 12 日	・ 第1回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第2回	2024 年 6 月 6 日	・ 令和5年度事業報告及び付属明細書の承認の件 ・ 令和5年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・ 第2回評議員会開催の件 ・ 銀行借入額決定の件 ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 ・ 令和6年度助成者決定の報告の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
第3回	2024 年 10 月 18 日	・ 株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	書面で同意を得た
第4回	2024 年 12 月 10 日	・ 第3回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第5回	2025 年 1 月 30 日	・ 令和7年度事業計画承認の件 ・ 令和7年度収支予算承認の件 ・ 特定資産取崩しの件 ・ 銀行借入の件 ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した

②評議員会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	2024 年 6 月 6 日	・ 理事会第1号議案「令和5年度事業報告及び付属明細書報告の件」 ・ 理事会第2号議案「令和5年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件」 ・ 銀行借入額決定の件 ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 ・ 令和6年度助成者決定の報告の件	事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
第2回	2024 年 6 月 21 日	・ 令和5年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件	書面で同意を得た
第3回	2025 年 1 月 30 日	・ 令和7年度事業計画承認の件 ・ 令和7年度収支予算承認の件 ・ 特定資産取崩しの件 ・ 銀行借入の件 ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄附金に関する事項

該当なし

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

5. 事業報告書の附属明細書

2025 年 3 月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の附属明細書に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

2025年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (2025/3/31)	前 年 度 (2024/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,554,108	7,814,911	1,739,197
流動資産合計	9,554,108	7,814,911	1,739,197
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	1,355,355,000	1,240,057,000	115,298,000
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	1,375,355,000	1,260,057,000	115,298,000
(2)特定資産			
公益目的事業積立預金	26,900,000	21,300,000	5,600,000
特定資産合計	26,900,000	21,300,000	5,600,000
(3)その他固定資産			
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	1	1	0
固定資産合計	1,402,255,001	1,281,357,001	120,898,000
資産合計	1,411,809,109	1,289,171,912	122,637,197
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	91,300	△ 91,300
流動負債合計	0	91,300	△ 91,300
負債合計	0	91,300	△ 91,300
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	1,326,000,000	1,210,000,000	116,000,000
投資有価証券	29,355,000	30,057,000	△ 702,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産運用益	26,900,000	21,300,000	5,600,000
指定正味財産合計	1,402,255,000	1,281,357,000	120,898,000
(うち基本財産への充当額)	1,375,355,000	1,260,057,000	115,298,000
(うち特定資産への充当額)	26,900,000	21,300,000	5,600,000
2. 一般正味財産	9,554,109	7,723,612	1,830,497
正味財産合計	1,411,809,109	1,289,080,612	122,728,497
負債及び正味財産合計	1,411,809,109	1,289,171,912	122,637,197

正味財産増減計算書

2024年4月1日 から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (2024.4.1-2025.3.31)	昨年度 (2023.4.1-2024.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	912,000	607,326	304,674
基本財産受取利息	26,106	432	25,674
基本財産運用益取崩額	21,300,000	18,900,000	2,400,000
基本財産受取配当金振替額	17,100,000	10,700,000	6,400,000
基本財産運用益計	39,338,106	30,207,758	9,130,348
②受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金計	0	0	0
③雑収益			
事業費返金	0	900,000	△ 900,000
雑収益計	0	900,000	△ 900,000
経常収益計	39,338,106	31,107,758	8,230,348
(2)経常費用			
①事業費			
支払助成金	33,300,000	26,400,000	6,900,000
表彰事業	663,800	662,700	1,100
会議費	1,621,869	973,169	648,700
印刷費	737,550	829,455	△ 91,905
消耗品費	159,519	59,499	100,020
旅費交通費	0	3,000	△ 3,000
通信費	142,026	160,652	△ 18,626
事務委託費	384,000	384,000	0
家賃	96,000	96,000	0
減価償却費	0	9,337	△ 9,337
事業費計	37,104,764	29,577,812	7,526,952
②管理費			
会議費	105,634	84,880	20,754
事務手数料	34,858	43,467	△ 8,609
旅費交通費	97,510	61,010	36,500
通信費	0	3,740	△ 3,740
雑費	0	200,000	△ 200,000
租税公課	600	480	120
事務委託費	96,000	96,000	0
家賃	24,000	24,000	0
減価償却費	0	491	△ 491
支払利息	44,243	32,574	11,669
管理費計	402,845	546,642	△ 143,797
経常費用計	37,507,609	30,124,454	7,383,155
当期経常増減額	1,830,497	983,304	847,193
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,830,497	983,304	847,193
当期一般正味財産増減額	1,830,497	983,304	847,193
一般正味財産期首残高	7,723,612	6,740,308	983,304
一般正味財産期末残高	9,554,109	7,723,612	1,830,497
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	115,298,000	251,946,000	△ 136,648,000
基本財産評価損	0	0	0
基本財産受取配当金	44,000,000	32,000,000	12,000,000
一般正味財産への振替額	△ 38,400,000	△ 29,600,000	△ 8,800,000
当期指定正味財産増減額	120,898,000	254,346,000	△ 133,448,000
指定正味財産期首残高	1,281,357,000	1,027,011,000	254,346,000
指定正味財産期末残高	1,402,255,000	1,281,357,000	120,898,000
III 正味財産期末残高	1,411,809,109	1,289,080,612	122,728,497

正味財産増減計算書内訳表

2024年4月1日 から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和6年度(2024.4.1-2025.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	866,400	45,600		912,000
基本財産受取利息	26,106	0		26,106
基本財産運用益取崩額	21,300,000	0		21,300,000
基本財産受取配当金振替額	14,900,000	2,200,000		17,100,000
基本財産運用益計	37,092,506	2,245,600		39,338,106
② 受取寄附金				
受取寄附金	0	0		0
受取寄附金計	0	0		0
③ 雑収益				
事業費返金	0	0		0
有価証券売買料	0	0		0
雑収益計	0	0		0
経常収益計	37,092,506	2,245,600		39,338,106
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	33,300,000			33,300,000
表彰事業	663,800			663,800
会議費	1,621,869			1,621,869
印刷費	737,550			737,550
消耗品費	159,519			159,519
旅費交通費	0			0
通信費	142,026			142,026
事務委託費	384,000			384,000
家賃	96,000			96,000
減価償却費	0			0
事業費計	37,104,764	0		37,104,764
② 管理費				
会議費		105,634		105,634
事務手数料		34,858		34,858
旅費交通費		97,510		97,510
通信費		0		0
雑費		0		0
租税公課		600		600
事務委託費		96,000		96,000
家賃		24,000		24,000
減価償却費		0		0
支払利息		44,243		44,243
管理費計	0	402,845		402,845
経常費用計	37,104,764	402,845		37,507,609
当期経常増減額	△ 12,258	1,842,755		1,830,497
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 12,258	1,842,755		1,830,497
当期一般正味財産増減額	△ 12,258	1,842,755		1,830,497
一般正味財産期首残高	6,828,823	894,789		7,723,612
一般正味財産期末残高	6,816,565	2,737,544		9,554,109
II 指定正味財産増減の部				
基本財産評価益	109,533,100	5,764,900		115,298,000
基本財産評価損	0	0		0
基本財産受取配当金	41,800,000	2,200,000		44,000,000
一般正味財産への振替額	△ 36,200,000	△ 2,200,000		△ 38,400,000
当期指定正味財産増減額	115,133,100	5,764,900		120,898,000
指定正味財産期首残高	1,218,335,175	63,021,825		1,281,357,000
指定正味財産期末残高	1,333,468,275	68,786,725		1,402,255,000
III 正味財産期末残高	1,340,284,840	71,524,269		1,411,809,109

財務諸表に対する注記

2024年4月1日 から2025年3月31日まで

1. 継続事業の前提に関する注記
該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。
定率法

(3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	1,240,057,000	116,000,000	702,000	1,355,355,000
小 計	1,260,057,000	116,000,000	702,000	1,375,355,000
特定資産				
公益目的事業積立預金	21,300,000	26,900,000	21,300,000	26,900,000
小 計	21,300,000	26,900,000	21,300,000	26,900,000
合 計	1,281,357,000	142,900,000	22,002,000	1,402,255,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価損益）と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
普通預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	1,355,355,000	1,355,355,000	0	0
小 計	1,375,355,000	1,375,355,000	0	0
特定資産				
公益目的事業積立預金	26,900,000	26,900,000	0	0
小 計	26,900,000	26,900,000	0	0
合 計	1,402,255,000	1,402,255,000	0	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
PC一式	208,041	208,040	1
合 計	208,041	208,040	1

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益取崩額へ充当	21,300,000
基本財産受取配当金振替額へ充当	14,900,000
管理費充当額	2,200,000
合 計	38,400,000

7. その他
該当はありません。

財産目録

2025年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産	現金預金	普通預金 中国銀行/奉還町支店 普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	運転資金として "	450,659 9,103,449
	現金預金合計	9,554,108		
	流動資産合計			9,554,108
2. 固定資産				
基本財産	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。	29,355,000
	普通預金	中国銀行/奉還町支店	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している。	20,000,000
	投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	1,326,000,000
	基本財産合計	1,375,355,000		
特定資産	公益目的事業積立預金	普通預金 中国銀行/奉還町支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	26,900,000
その他固定資産	什器備品	PC一式	共有財産であり、減価償却費の95%を事業の費用とし、残り5%は管理費の費用として使用している。	1
固定資産合計				1,402,255,001
資産合計				1,411,809,109
1. 流動負債				
	未払金	株式会社357に対する未払額	令和6年度ホームページ更新代未払い分として	0
流動負債合計				0
負債合計				0
正味財産				1,411,809,109